



若田部 治彦 議員(公明党議員会)

質問方式  
一問一答外国人への情報発信  
について

Q 外国人への災害時における避難等の情報提供は重要だと思うが、今後どのような取り組みを行っていくのか。

また、佐野市ホームページトップページの右上の「Foreign Language」のボタンより、英語、中国語、韓国語等に対応するページへ入っていくが、まずそのページに行けないということが問題であるが、どうか。

A 総合政策部長

外国人の方に対する避難情報の提供については、市のホームページから自動翻訳機能を活用することにより、情報を取得することができまます。また、各避難所には多言語シートを設置し、避難所内の案内等、一定のお知らせの表示を用意しています。

ホームページについては、現在全面的なリニューアルを行っており、早くそうした点も解消していければと思っています。

## その他の質問

☆クラウドファンディングの導入について  
☆空き家対策について  
☆市役所の駐車場・駐輪場について



▲ 佐野市ホームページ右上の「Foreign Language」のボタン



亀山 春夫 議員(政友会)

質問方式  
一問一答遊休農地の解消対策  
について

Q 少子高齢化が急速に進み、本市でも65歳以上の高齢者人口比率(高齢化率)は、平成29年度28.9%に達している中、管内農地面積が4,239ヘクタールあり、遊休農地が59ヘクタールで、約1.3%である。耕作放棄地、遊休農地とは、どのような判断基準があるのか。

A 農業委員会事務局長

耕作放棄地とは、農林業センサスにおいて、以前耕地であったもので、過去1年以上作物を栽培せず、しかもこの数年の間に再び耕作する考えのない土地とされています。

また、遊休農地とは、農地法において、現に耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地です。その農業上の利用の程度が、その周辺の地域における農地の利用の程度に比し、著しく劣っていると考えられる農地とされています。

## その他の質問

☆全国山城サミット  
佐野大会後の誘客  
拡大について



菅原 達 議員(公明党議員会)

質問方式  
一問一答若者のひきこもり  
支援の充実について

Q ひきこもりの実態の把握も含め、アウトリーチで支援につなげるためには、説得に回ったり、誘ったりせず、情報提供に徹することが重要であるとともに、そのためには情報の発信拠点の役割を担いつつ、安心感にあふれ前向きに受けとめることができる居場所というのは、必要不可欠であると考えます。本市の居場所の現状と課題を踏まえて伺いたい。

A こども福祉部長

本市における、若者のひきこもり支援のための具体的な居場所の実態は把握していません。本市といたしましても、ひきこもりの人が安心して集える居場所の必要性は認識していますので、今後市内で取り組みをしている団体や先進自治体の状況を把握し、研究していきたいと考えています。

## その他の質問

☆女性活躍するまちづくりの推進について  
☆市営住宅の課題と対応について

※アウトリーチ・・・英語で手を伸ばすこと。福祉などの分野において、助けが必要な方に積極的に働きかけ、支援すること。